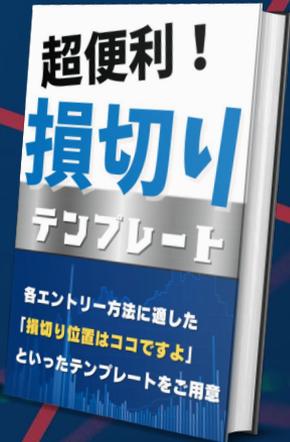


超便利！

損切り

テンプレート



損切り位置はコレで完璧！

損切りとは？

いきなりですが

損切りとは？

あなたは「**損切り**」を
どのように認識していますか？



損切りとは？

「しておいた方が**良い**」と

どこかで見たり聞いたりしたから？

「**精神的に耐えられなくなった**」から損切り？



損切りとは？

**この様な認識では
大切な資金を減らし続けてしまいます。**



損切りとは？

損切りの本当の意味は....

損切りとは？

先が予測できない相場において

損失を最小限に抑えて

自分の資産を守る"唯一の方法"です

損切りとは？

なので、

損切りポイントが分からないまま

エントリーするのはNGです



損切りとは？

そして！損切りは感覚で行わず

必ず根拠や理由を持って

設定してください！

損切りとは？

そこで

損切りの3つの心得

を伝授します

損切りとは？

1. 先が予測できない相場において
リスクを最小限に抑えて
自分の資産を守る"唯一の方法"と心得よ！
2. 損切りポイントが分からずに
エントリーしてはいけない！
3. 損切りは感覚で行わず
必ず根拠や理由を持って行うべし！

損切りとは？

この3つを絶対に守ってください！

トレードに慣れるにつれて ②が疎かになる傾向があり、
最終的に③の感覚損切りに陥るので注意してください！



損切りとは？

なのでトレードの前には毎回

1. 損切りの明確な基準を持っているか？
2. それを言語化することができるか？
3. それを必ず守ってトレードしているか？

これらを意識してください！



損切りの考え方

基本的にトレードというものは

ポジションを建てるだけの理由があるからエントリーし

ポジションを持った理由がなくなったから決済(利確)する

ですよ？

損切りの考え方

要は、

なぜそのポジションを持ったのか？

ということが大切です

損切りの考え方

ここが明確でないと**当然適切な手仕舞いはできません。**

ただ何となくエントリーしたのであれば
何となく決済するしかない無意味なトレードに
なってしまうので再認識してください！

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

とはいえ

相場は100%予測できるものではありません



損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

なので、利益目標・期待値・勝率などは

「期待」するものであり

確実性は全くありません

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

しかし、その不確実だらけな相場の中で

唯一確実なものがあります



損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

それが**損切り**です！



損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

「損切り」だけは完全に

あなたがコントロール出来るものです

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

なので、「損切り」は

我々トレーダーが必死で

すがりつかなければいけないものである

ということを認識してください。

損切りのパターンを覚える

今回は、

その重要な損切りをパターン化しました！



損切りのパターンを覚える

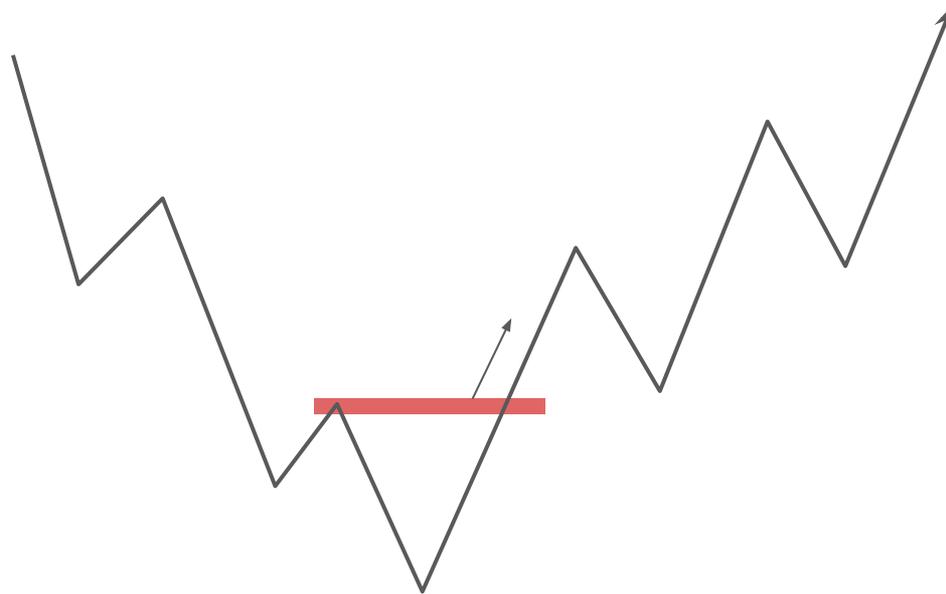
自分の手法にはどの損切りがっているのか

今のトレードにどの損切りが適しているのか

を参考にしてみてください！

損切りのパターンを覚える

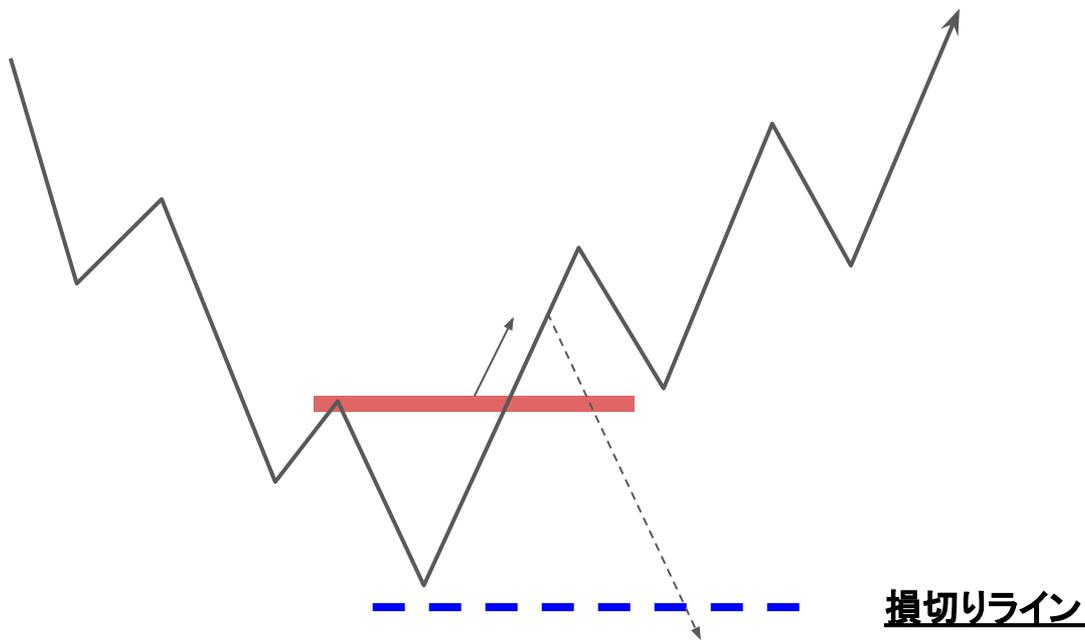
①ダウ転換が起きる場所



損切りのパターンを覚える

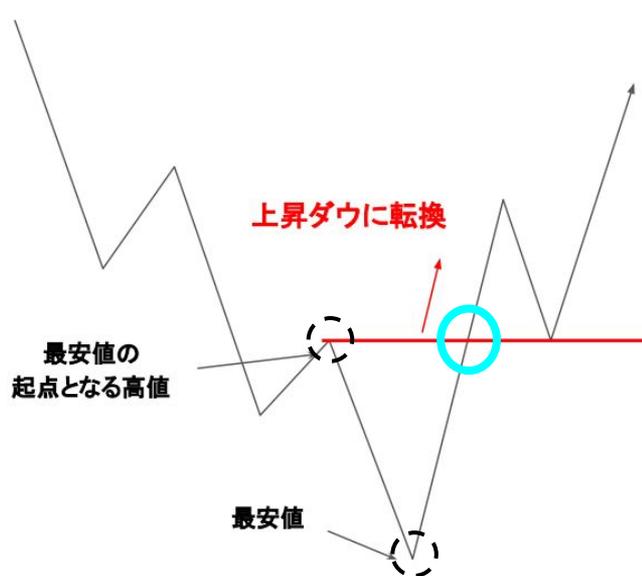
①ダウ転換が起きる場所

これが損切りの1番基本のパターンです

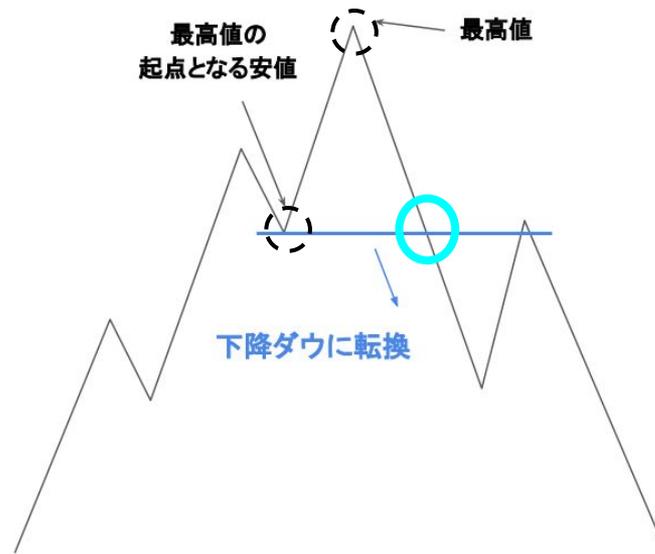


損切りのパターンを覚える

①ダウ転換が起きる場所



最安値の起点となる高値を上抜け
→ 下降ダウ崩れ



最高値の起点となる安値を下抜け
→ 上昇ダウ崩れ

損切りのパターンを覚える

①ダウ転換が起きる場所

例えば

最安値を作った高値を割ってエントリー
【上昇トレンドになると予測】



予想が外れ最安値を更新
【下降トレンドに転換したと考えられる】

損切りのパターンを覚える

①ダウ転換が起きる場所

即ち、上昇トレンドを狙っているのに
下降トレンドになってしまっている状況です

この時点でもうポジションを持っておく必要はないですね？

損切りのパターンを覚える

①ダウ転換が起きる場所

なので、その時に利益が出ていようと

含み損になっていようと

ポジションを持ち続ける理由がないので

決済しましょう！

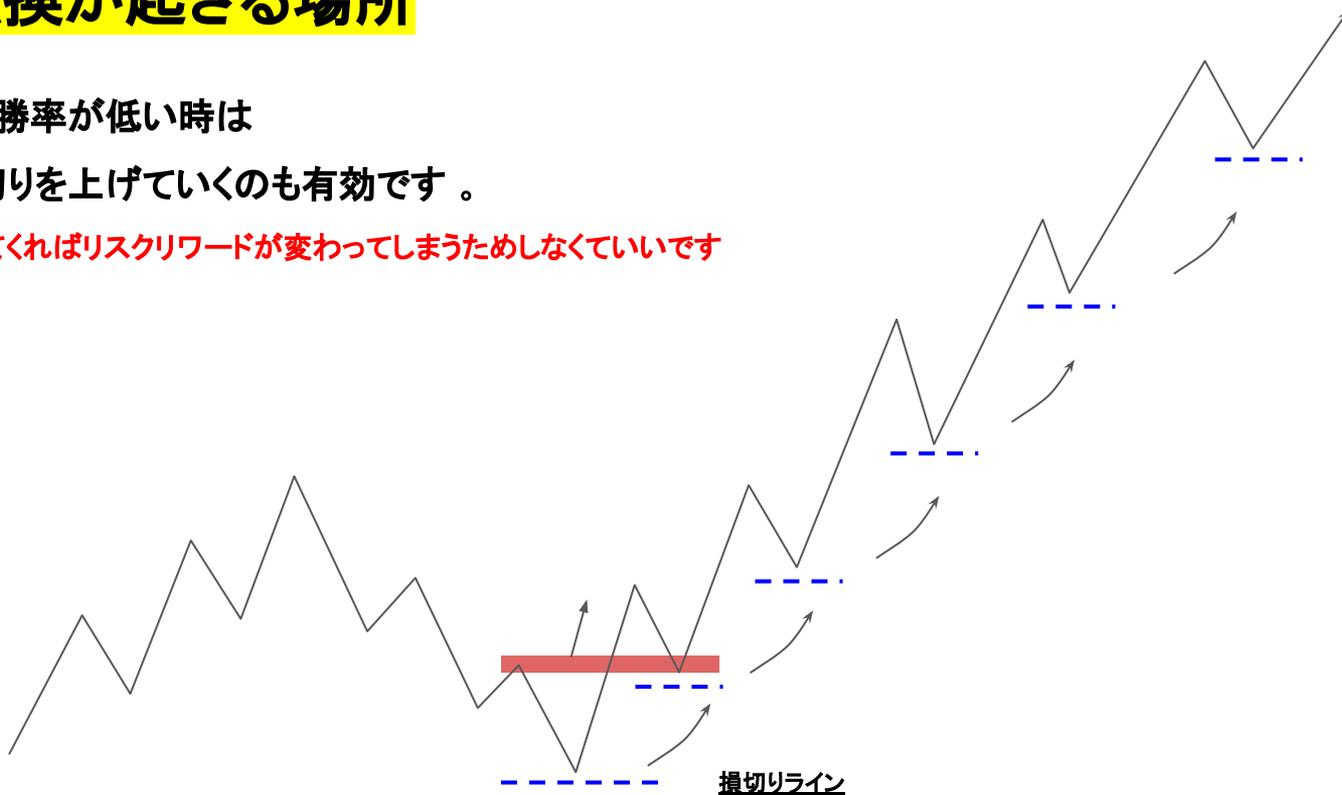
損切りのパターンを覚える

①ダウ転換が起きる場所

初心者の方で勝率が低い時は

このように損切りを上げていくのも有効です。

※勝率が安定してくればリスクリワードが変わってしまうためしなくていいです



②インジケーターによる決済サイン

代表例としては

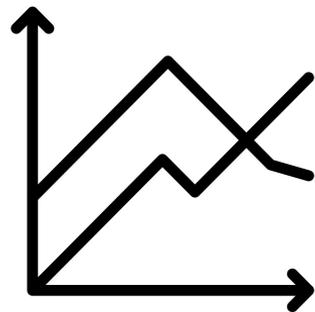
MACDのゴールデンクロスでエントリーし

デッドクロスで決済する

というようなやり方

損切りのパターンを覚える

②インジケーターによる決済サイン



考え方として、エントリーの根拠が

MACDのゴールドクロスであれば

ゴールドクロス状態が終わるのはデッドクロスということです

②インジケーターによる決済サイン

なので、デッドクロスした時点で

ポジションを持っている理由は失いましたよね？

②インジケーターによる決済サイン

何度も言うように、エントリーした根拠が崩れたから

利益が出てようが、含み損を抱えていようが

決済しないといけないということです！



損切りのパターンを覚える

②インジケーターによる決済サイン

決済した時に

利益が出ていれば「利確」

損失となってしまうば「損切り」

ただそれだけです

②インジケーターによる決済サイン

損切りと**利確**を

分けて考えるから

ややこしくなってしまうんです



③エントリーしたレートを割る

この③は

レートにある程度の勢い

がなければ厳しいです

損切りのパターンを覚える

③エントリーしたレートを割る

【買いエントリーの場合】

「買ったレートを割ったら即損切り」ということは

エントリー後、逆行することなく上昇することが条件です

損切りのパターンを覚える

③エントリーしたレートを割る



③エントリーしたレートを割る

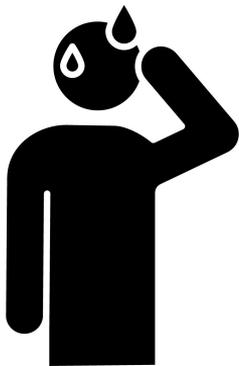
この③の損切りは
意図してやっているならいいのですが...

③エントリーしたレートを割る

そうでなく、わずかの逆行を怖がって

勝手にこの損切りになっている

トレーダーが非常に多いです！



損切りのパターンを覚える

③エントリーしたレートを割る

繰り返し言いますが

この③の損切りをするトレードは

レートに勢いがあるって初めて成功しやすいものです

ここを注意しましょう！

④移動平均線を割る

これは

「相場状況が優れた局面」

でよく使う方法です！

④移動平均線を割る

この損切り方法は...

④移動平均線を割る



利確と損切りは同じものという

考え方が分かりやすく成り立っています

損切りのパターンを覚える

④移動平均線を割る

この④の特徴としては

トレンドに沿ってトレードしている場合

あまり大きな損切りにはなりにくく

利益が圧倒的に伸ばしやすいということです

損切りのパターンを覚える

④移動平均線を割る



④移動平均線を割る

最初に

「相場状況の良い局面で」

と念を押して言ったのは



④移動平均線を割る

この方法もエントリー後に比較的逆行せずに

思った通りの方向へと

動き続けるといけないからです

④移動平均線を割る

これは他の要素でも、

大きく左右されるトレード(損切り)方法

になります

④移動平均線を割る

特に上位足での勢いとダウは絶対に

考慮する必要があるので覚えておいてください！



⑤トレンドラインを割る

この⑤の損切りも

移動平均線の方法と同じ利点があります

⑤トレンドラインを割る

同じと言っても

移動平均線の方法よりも明確です！



損切りのパターンを覚える

⑤トレンドラインを割る



エントリー

利確

⑤トレンドラインを割る

この方法は上位足と下位足との方向が異なっている時に

無理矢理トレンドラインを引いても効きません



⑤トレンドラインを割る

逆に、相場状況を正しく認識してラインを引けば
損切りと言いながらも**損失となる可能性が低い方法**です



⑤トレンドラインを割る

気を付ける点はトレンドライン反発後

・エントリータイミングが遅れる

・トレンドラインの角度が緩い

などの場合は損切りになる可能性が高くなるので注意です

⑤トレンドラインを割る

なので、この方法を使えるのは

完璧なトレンドラインを引くことができる

相場状況に限られてしまうというのが欠点です

⑤トレンドラインを割る

ですが、それで大丈夫です！

⑤トレンドラインを割る

巷では

どこでもトレードできる方法

を重宝しがちですが

それは間違いです...

⑤トレンドラインを割る

なぜならトレードというのは

機会(チャンス)を上手く利用するものです

⑤トレンドラインを割る

なので、

機会(チャンス)が多いトレード方法は

逆にリスクも高まります...

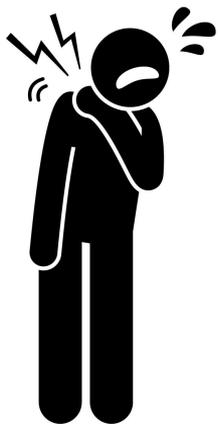


⑤トレンドラインを割る

トレードを多くして

無理矢理なトレードを続けていると

いつか必ずボロが出ます



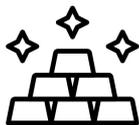
⑤トレンドラインを割る

チャンスが少なく待つ必要がある

それまでに何度も大きな値動きを逃してでも

できるだけ損をしない局面まで待つこと

⑤トレンドラインを割る



それを継続できるトレーダーだけが

最後まで生き残り

大きな資産を手にすることができる者になります

⑥エントリーしたローソク足の高値安値を割る

【例えば買いエントリーした場合】

買ったローソク足の安値を割ったら損切り

非常に単純で理にかなっているものです

損切りのパターンを覚える

⑥ エントリーしたローソク足の高値安値を割る



上位足

損切りのパターンを覚える

⑥エントリーしたローソク足の高値安値を割る

この方法は損切りラインが明確な分、迷いが少なく

安値を割らなければ、その後の伸びが期待でき

安値を割れば、その後の伸びは期待できない

と納得できます

それ以外のパターンは？

ここまで解説した

①～⑥のパターンの他にも

多くの損切り方法が存在します



それ以外のパターンは？

ただ、損切りの考え方の芯となる部分は

なぜそのポジションを保有したのか？

ということです

それ以外のパターンは？

そのポジションを保有する理由を明確にし

保有した理由がなくなれば決済する

これを常に意識してください！



おわりに

また、トレードを行う際は

・損切りが狭く設定できるところ

・そして「わかりやすい」ところ

この2つを徹底してください！

おわりに

大きな傷を負わないこと

これが相場で生き残る最大の秘訣です！